

ハイキング部だより

第187回



令和元年(2019年)5月11日(土)～ 三大神社の藤と烏丸半島

コース:JR草津駅～なごみの郷～三大神社～志那神社～湖岸緑地～
烏丸半島(水生植物公園みずの森)＝バス＝JR草津駅(約8キロ)

参加者 14名

5月11日(土)参加者14名で第187回ハイキングを実施しました。30度近い気温でしたが風があったのでそれほど暑さは感じませんでした。

10時JR草津駅をスタート。途中「なごみの郷」でトイレ休憩のあと11時過ぎ三大神社に到着。目当ての藤は、見頃を過ぎており少し色あせていましたが花は満開で1mぐらいの房が垂れ下がっており、かなり見ごたえがありました。志那神社の藤も見て湖岸に向かって歩きました。道端の小川には亀がいっぱいました。

湖岸で昼食をとり烏丸半島まで歩いて水生植物公園みずの森を約1時間見学、珍しい花が沢山咲いていました。ヒツバタゴ(なんじゃもんじゃ)の香り、バナナの香りのするトウオガタマ(ポートワイン)、オオデマリの白い鞠のような花などを見て回りました。池のスイレンもきれいでした。温室には南メキシコ原産のデビルズハンドツリーという木があり「悪魔の手の木」と呼ばれるように赤い手の指のような形をした花がついていました。3時に見学を済ませ草津駅までバスに乗り、ここで解散しました。







第187ハイキングは下記の計画で実施しました



～ 三大神社の藤と烏丸半島 ～

日 時： 令和元年5月11日(土) 10時 琵琶湖線「JR草津駅」集合

コース: JR草津駅～三大神社～惣社神社～志那神社～蓮海寺～烏丸半島
(琵琶湖博物館、水生植物公園みずの森)＝バス＝JR草津駅(約8キロ)

★ 最終地点を「栗東駅」から「草津駅」に変更します。
コースが長いので烏丸半島から草津駅まではバスに乗ります。

三大神社の藤は、樹齢400年とも言われ花房が1.85m前後にもなり「砂擦りの藤」とも呼ばれています。近くの志那神社、惣社神社とともに志那三郷の藤として親しまれています。

琵琶湖博物館は「湖と人」をテーマに数百万年にわたる琵琶湖の歴史や湖と人との関わりを体験できる博物館です。水生植物公園みずの森は、琵琶湖に面した烏丸半島にある全国でも数少ない水生植物公園で、なかでも日本最多のスイレンのコレクションは必見です。また、蓮海寺は古くから蓮の名所として知られ家康も訪れたと言われています。

